

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城県立水戸聾学校 担当教諭名 菊池 香

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成22年12月17日(金) 13:30 ~ 15:00
対象学年と人数	高等部全学年 26名(1年8名, 2年10名, 3年8名)
派遣講師名と出身国	幸田 泰子(日本)
活動の内容	タンザニアの地理, 自然, 動物, 特産品など多岐にわたる情報について, 写真や実物等の視覚的教材を用いた講演を聞く。 質疑応答。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	Q4. 事業に参加しての意見・感想 ・今回, 本校では初めて本事業に参加しました。来年度以降も, 講演という形だけではなく, 体験学習的な形等を考えて参加を検討していきたいと思います。 ・講師謝金や旅費の算出が少し分かりづらかったです。
<b>生徒</b> ・保護者等参加者の感想	・人と仲良くなるためには信頼を持つことが必要だと分かりました。 ・いろいろな野生動物を見て, とても美しいなあと感じました。 ・タンザニアという国は初めて聞きました。学校に行かない子が多かったです。子どもは仕事をしていて, 学校に行かないことも多いと聞き, 大変だなと思いました。 ・日本とタンザニアの生活は全然違うので, 互いに人を理解する努力が必要だと知りました。 ・アフリカはいろいろな言葉や文化が交わっていることを知り, 驚きました。 ・地球にはまだ知らない国がたくさんあると感じました。 ・タンザニアの自然が豊かで様々な動物がいるということを知った時, 美しいところだと思いました。しかし, 学校に行けずにいる子どもがたくさんいることに対しては, 悲しいことだと痛感しました。私たちにも何かできることはないのかと改めて考えました。 ・制服がないことで学校に行けない子どもたちも大勢いると聞き, 日本はなんて幸せな国だろうと改めて思いました。 ・マーケットで肉を買う時に, ハエがついていたら, 僕は買いたくないなと思いました。 ・「言葉が通じなくても, 心で通じることができる」という言葉が心に響きました。
先生の感想	今回の講演は, 本校の高等部生徒の中に国際協力に関心を持ち, 将来は]自分の携わりたいと考えている者がおり, また他の生徒にとっても意義のある内容だと思い, 高等部生徒・職員全員で聞かせていただきました。聴覚障害という本校生徒の障害に配慮していただき, スライドや写真, パネル, 特産品の現物など, 視覚的に分かりやすいように準備してくださったので, 生徒たちは興味をもって講演を聞くことができました。タンザニアについて詳しく知っている生徒はいませんが, 配慮していただいたおかげで, 生徒一人一人が何かを感じ取ることが来たように思います。(担当教諭)

